

県内の患者数

矢印は、前週の数に対して 増加 減少 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	1	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	34	32	ヘルパンギーナ	22	27
咽頭結膜熱	11	11	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	94	62
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	59	26	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	197	167	流行性角結膜炎 (はやり目)	11	6
水痘	45	33	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	24	46	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	4	5	マイコプラズマ肺炎	5	6
突発性発しん	36	43	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い
感染症

- 感染性胃腸炎
- 流行性耳下腺炎
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎は、報告数 197 件(前週報告数 167 件)と増加。地区別では、人吉、宇城、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 25 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 流行性耳下腺炎は、報告数 94 件(前週報告数 62 件)と増加。地区別では、有明、菊池、水俣に多く報告がみられる。年齢別では、4歳の16件を最多に、主に10～14歳以下からの報告である。
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、報告数 59 件(前週報告数 26 件)と増加。地区別では、菊池、天草、熊本に多く報告がみられる。年齢別では、6歳の 11 件を最多に、1歳以上からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	0	10	3	31	42	18	8	2	12	0	13	39		9		1	4	
山鹿保健所	0	0	0	1	10	5	4	0	3	0	0	0	*	*				
菊池保健所	0	11	1	9	26	7	0	0	4	0	1	12						
阿蘇保健所	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
御船保健所	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	0	5	0	2	24	4	2	0	0	0	0	9						
水俣保健所	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	5	*	*				
人吉保健所	0	0	0	2	27	1	2	0	2	0	1	6	*	*				
有明保健所	0	3	6	4	27	7	0	0	7	0	0	16		2				
宇城保健所	0	2	0	2	20	1	2	0	4	0	1	3						
天草保健所	0	3	1	8	13	1	6	2	3	0	6	4						1
計	0	34	11	59	197	45	24	4	36	0	22	94	0	11	0	1	5	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	34	3	9	19	3																	
咽頭結膜熱	11			2	2	5	2															
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	59			2	2	5	6	5	11	10	4	7	4	1	2							
感染性胃腸炎	197	3	22	25	24	17	12	15	13	15	7	14	14	4	12							
水痘	45	1	5	12	7	6	6	5	2			1										
手足口病	24		1	5	7	4	3	1	1			1	1									
伝染性紅斑	4				2				1				1									
突発性発しん	36		13	21	2																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	22		7	4	3	1	3	1	1	1		1										
流行性耳下腺炎	94		2	6	10	14	16	10	13	10	5	2	4		2							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	11						1							3	3	2		1	1			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1				1																	
マイコプラズマ肺炎	5			4									1									
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

ありませんでした。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎



A群溶血性連鎖球菌咽頭炎の発生報告は例年夏には報告数が少なく、秋から冬にかけて増加傾向が見られます。今週は先週の2倍以上59件の報告がありました。2～5日の潜伏期のあと、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。通常は1週間以内に症状はおさまりませんが、のどの点状出血や、莓舌(莓の表面のように赤くぶつぶつになる)が見られることもあります。また、しょう紅熱(顔や体に点状紅斑や皮疹等が出現する)を起こすこともあります。腎炎などの合併症を起こすこともありますので、症状があったら早めに医療機関を受診してください。患者のせきやくしゃみから感染しますので、兄弟間や、学校・幼稚園・保育園など集団生活施設内での感染も多く見られます。予防には患者との接触を避けること、うがい・手洗いなどの一般的な予防法を励行することなどが重要です。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課